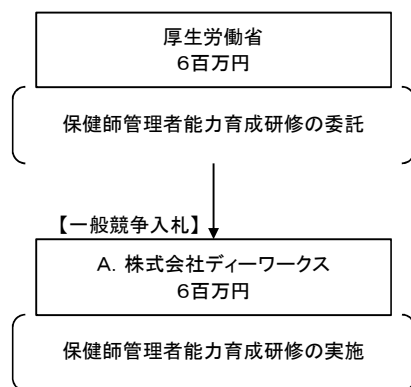


平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名		保健師管理者能力育成研修事業		担当部局	健康局		作成責任者	
事業開始年度	平成22年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	がん対策・健康増進課保健指導室	保健指導室長 島田 陽子		
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-10-1 地域住民の健康の保持・増進及び地域住民が安心して暮らせる地域保健体制の確保を図ること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策	子ども・若者育成支援、障害者施策			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	市町村では地域住民のニーズに応じた各種保健事業を実施しており、その提供に係る能力の向上を常に期待されている。管理的な立場にある保健師は、中堅期保健師や新人保健師の育成についても影響を与えることが考えられ、人材育成能力を含めた様々な能力の向上が求められている。一方、当該市町村や周辺自治体等において適切な指導者が得られず、その育成が重要な課題となっている。このため、市町村における保健師の管理者として効果的な活動を展開するために求められる資質の向上を図ることを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	市町村の管理的立場にある保健師に対して、全国をブロック毎に分け、保健師の管理者として効果的な活動を実施するために求められる資質の向上を図る上で、必要な知識を付与する研修を実施する。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	9	9	9	9	9	
	執行額	9	8	6	-	-		
	執行率(%)	100%	89%	67%	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 35年度	
	平成35年度に研修受講者に対して実施したアンケートにおいて、「今後の管理者として必要な能力の発揮に役立つと思う」と回答した割合を100%まで引き上げる	研修受講者に対して実施したアンケートにおいて、「今後の管理者として必要な能力の発揮に役立つと思う」と回答した割合	成果実績	%	88.7	89.7	88.6	-
			目標値	%	98.9	88.7	89.7	対前年度以上
			達成度	%	89.7%	101.1%	98.8%	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	受講者数	活動実績	人	179	254	225	-	
		当初見込み	人	400	500	500	500	
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	X:当該年度執行額(千円) / Y:当該年度受講者数	単位当たりコスト	円	50,369	31,929	24,911	18,682	
		計算式	X / Y	9,016 / 179	8,110 / 254	5,605 / 225	9,341 / 500	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	社会保障関係情報化業務庁費	9	9					
	計	9	9					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	市町村の管理的立場にある保健師の資質を向上することによって国民に質の高い保健サービスを提供することができ、国民のニーズがある事業であるため、国費を投入して事業実施をする必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	当該市町村や周辺自治体等において適切な指導者が得られず、その育成が重要な課題となっており、国が研修の企画・実施をするべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	市町村の管理的立場にある保健師に対して、研修を行うことは、保健師の能力を向上させることであり、ひいては、国民の健康の保持増進につながることから、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	昨年度まで企画競争入札としていた研修事業について、一般競争入札を行うことで競争性を確保した。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	研修受講者数が高水準で推移しており、単位当たりコストの水準も妥当なものとなっている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	保健師に対する研修のために必要な経費に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	入札により不用が生じた。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	研修受講者に対して実施したアンケートにおいて、「今後の管理者として必要な能力の発揮に役立つと思う」と回答した割合は高水準で推移しており、成果目標に見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	受講者数は高水準で推移しており、見込みに見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	本事業は、市町村の管理的立場にある保健師の資質が向上することによって、国民に質の高い保健サービスを提供することができ、ひいては国民の健康の保持増進につながるものである。ここ数年、研修の開催箇所数を増やしてきていることもあり、研修受講者が高水準で推移していることから、市町村保健師の資質向上に寄与することができた。			
	改善の方向性	受講者数の増加に繋がるよう、研修の周知につとめるとともに、研修内容を精査し、保健師の能力向上を図る。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
一部改善の	点検結果は妥当であるが、執行実績や今後の見込みを精査の上、必要な予算額を確保すること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	これまでの執行実績や今後の見込みを踏まえ、必要な予算額を要求。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	860	平成24年度	744
平成25年度	278	平成26年度	291		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.株式会社ディーワークス			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	平成26年度市町村保健師管理者能力育成 研修事業	6			
計		6	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ディーワークス	保健師管理者能力育成研修の実施	62		61%